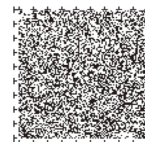


令和4年3月2日
第123号
発行 福岡視力障害センター
〒819-0165 福岡市西区今津 4820-1
(電話) 092 (806) 1361
(FAX) 092 (806) 1365
ホームページ
<http://www.rehab.go.jp/fukuoka/>
印刷 社会福祉法人 福岡コロニー



卒業生に贈る言葉

所長 藤田 ゆかり

卒業される皆さまへ

ご卒業、誠におめでとうございます。福岡センターを代表して心よりお祝い申し上げます。そして、皆さんを励まし支えてくださったご家族や地域の支援者の方々にも感謝の気持ちと祝意を述べさせていただきます。

卒業生の皆さんにとって、2年次からの2年間は新型コロナウイルスによる制限や自粛を余儀なくされる日々でした。そうした状況下に於いても前向きに授業・訓練に臨まれ、こうして卒業の日を迎えられた皆さまの努力に対して心より敬意を表します。

コロナへの不安感が高まる中、世間では様々な情報が飛び交いました。今は、ネットなどでも簡単に情報を入手できます。しかし、全てが

「正しい情報」とは限らず、「正しく情報を選択する力」が必要な時代でもあります。

これはコロナに限ったことではなく、人生は、ある意味、「選択の繰り返し」です。他者からアドバイスは得られても、最後に選択（決断）するのはご自身です。情報をしっかり見極め、自らの選択に責任を持つことを大切にしていきたいと思います。

新たな一歩を、どうぞ、力強く踏み出してください。

福岡センターの仲間や職員も皆さんを見守り応援しています。数多の困難や試練を乗り越えて訓練生活を全うした事、それを自信と力の糧にして、これからの人生を逞しく生きていってください。皆さんの未来に幸多かれと祈ります。

同窓会長 楠原 宏和

コロナ禍の中で不安と希望を抱え、国家試験取得のため日々の学習はもとより、自立訓練など努力を重ねながらセンター生活を終え、卒業の日を迎えられた10名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。センターで学んだノウハウを基礎に、

様々な分野でより一層の学識を高め、技術を磨いてください。

これからどのような困難があろうとも障害を理由に甘えることなく、夢をかなえてください。皆さんなら大丈夫です。今後のご活躍を会員一同祈念しております。

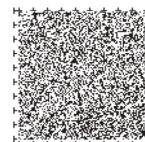
自治会代表 K・T

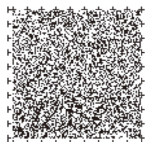
ご卒業おめでとうございます。国家試験お疲れさまでした。コロナの影響でいろいろとご苦労されたことと思います。そのような状況の中わたくしたちにいつも笑顔で優しく接して下さる皆様はとても頼りになる存在でした。

それぞれ新たな道へと進めますが、これからも私たちを導いてくれる存在でいていただきたい

と思います。

本当にありがとうございました。





教務課担当 絹見 昭洋

卒業生の皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。

昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、例年よりも学習環境で厳しい状況だったと思います。そのような状況を乗り越えた皆さんであれば、今後立ち上がるかもしれない困難も乗り越えられると信じています。皆さんの今後のご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

支援課担当 関口 弘一

ご卒業おめでとうございます。これから皆さんはそれぞれの未来に向かって歩いていきます。是非色々な人と出会い、色々な経験をしてください。辛いと思う瞬間もあるかもしれませんが、その時はこのセンターで同じ時を過ごした仲間を思い出してみてください。きっと心の支えになるはずです。皆さんの今後のご活躍を祈念しております。

卒業生からのメッセージ

高田 孔治さん

ここセンターでしか経験できないことや、出会えた仲間と職員や先生方に支えられ、3年間を過ごすことが出来ました。

本当にありがとうございました。

匿名

虚往実帰

弘法大師の名言に「虚往実帰」がある。

無名の留学僧で入唐し、大いなる成果を持ち帰る。転じて、何もわからずに行き、充実して帰ることであるが、私も目に障害を負い、何もわからずこちらの門を叩いた。

それから3年が経ち、「実帰」はいかなるものか？

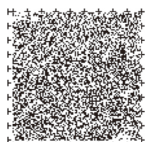
その答えは、この先の人生にあるのだろう。

匿名

この齢になってこんなに勉強するなんて！と自分でも驚きの真面目な勉強ぶりと、不安で仕方ない臨床実習、笑って、しゃべって、時々走って・・・そんな毎日がぎっしり詰まった3年間でした。

外来で出会えた患者さん方、温かく支援して下さった先生方、そして同じ時間を共有できたクラスメイトに感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございました。



Y・Uさん

勉強と部活動と自治会活動、そして、泣いたり笑ったりと、忙しくもとっても楽しかった、あっという間の3年間。

同級生の中でセンター生活を1番楽しんでいたのは私だと自信を持って言えます♪

だけど、泣き虫な私を支えてくれたり見守ってくれたクラスメイトや先輩後輩たち、そして、教職員の方々がいってくれたからこそその3年間でした。

福岡に来て本当に良かった！

ここで出会えたたくさんのご縁と思い出と経験を宝物にし、鍼灸師としての第2の人生に活かし続けていきたいと思います。



チームワークNo.1で優勝したフロアバレーボール

M・Mさん

入所した当時は不安で一杯でしたが、同級生や先輩、後輩、職員の皆さまが支えて下さったおかげで無事に卒業を迎えることが出来ました。

センターでの生活は、勉強だけではなく初めてのことばかりで、とても充実した3年間でした。

3年間本当にありがとうございました。

匿名

僕は3年間のセンター生活の中で色々なことを学ぶことが出来ました。

センターに来てすぐは「やめたい」と感じるものがたくさんありました。でもクラスの皆、先輩や後輩、職員の方々に支えられ、たくさんの人と関わることができ、今は「自分にしかできない経験ができた」と思います。3年間お世話になりました。

K・Nさん

早いもので、センターで過ごした日々は「あっという間に」でした。

これまで支えて下さった支援課の職員の皆さん、学習面での指導や相談に乗って頂いた教務課の先生方、勉強を共にしたクラスメイト、たくさんの方々に助けて頂きました。

本当にありがとうございました。

ここでの経験を糧に社会人として頑張りたいと思います。

匿名

入学したのが昨日のように感じられます。出会った仲間や後輩、先生方、多くの方にお世話になり、仲間と共に学び、様々な思い出ができました。

卒業しても、お世話になった方々を忘れずに、センターで学んだことを活かして頑張っていきたいです。ありがとうございました。

匿名

3年間お世話になりました。外に出て馬車馬のように働きます。ありがとうございました。

古賀 優さん

私が福岡視力障害センターを知ったのは、ハローワークの紹介でした。何もわからず申し込みをして入所しました。

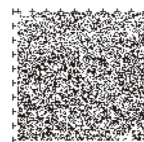
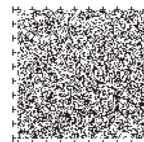
初めは知らない場所、知らない人で不安でしたが、それよりも勉強が大変になり、それどころじゃなくなりました。

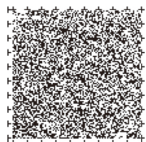
1年、2年過ぎていき、勉強も実技もそこそこのできるようになり、周りの人とも仲良くなりました。3年になって臨床が始まり、不安だらけでしたが、患者さん達に優しく声をかけてもらい「ありがとう。」と言われてすごく嬉しかったです。

これからまた色々大変なことがあると思いますが、なんとかがんばっていきたいです。本当にありがとうございました。



勉強の合い間に集合！





Eyeあいフェスタ

Eyeあいフェスタは、地域の皆様に視覚障害への理解を少しでも深めていただくことを目的として当センターが例年主催しているイベントです。今年は、昨年に続き、コロナ禍での開催となりました。例年、会場にさせていただいていた「さいとぴあ(福岡市西部地域交流センター)」が、予防接種会場のため利用できず、当センターを会場として実施することになりました。規模を縮小して事前予約制とし、会場企画とオンライン企画の2本立

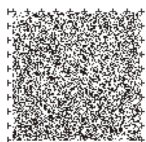
でで開催しました。直前までなかなか申込者数が伸びませんでしたが、多数の方々にご参加いただくことができました。定番企画のスポーツ体験(サウンドテーブルテニス、ボッチャ)、マッサージ体験をはじめ、今回初めて行ったリスニングマナー(小銭の音当てゲーム)や暗闇体験(絶対暗室での様々な体験)は子供たちに特に人気を博しました。「知らない世界を知ることができて良い経験になりました」など嬉しい感想を多数頂きました。



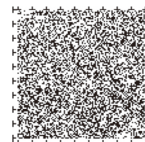
訓練公開

11月29日(月)に訓練公開を開催しました。今年度は、新型コロナウイルスの感染を防ぐため、オンラインで概要説明及び訓練公開、利用者の体験発表を行いました。訓練公開では、理療教育の授業の様子を別の教官がカメラで撮影し、参加者に向けてオンライン会議システムで生配信しました。利用者が使う学習補助機器に近づいて撮影を行うなど、オンライン上でも学習の様子が分かるよう工夫をしました。自立訓練では、ICT訓練の様子と日常生活訓練で使用する用具を紹介しました。体験発表は、10分間という限られた時間の中で、理療教育と自立訓練の計2名の発表者に、受障後から入所に至った経緯や、現在の訓練の様子などを発表していただきました。オンライン

による訓練公開をご覧いただいた参加者からは、「遠くて現地に行けないため、リモート参加ができて良かった」、「普段見ることができない授業風景や訓練の様子が見られて勉強になった」などの感想が寄せられました。



スポーツ訓練発表会



12月9日(木)にスポーツ訓練発表会(後期)を開催しました。利用者と職員が参加して2競技(ボッチャ; 7チーム、フロアバレーボール; 4チーム)を実施しました。ボッチャは予選を下位で通過した2年A組と自立訓練の決勝戦となりました。張

りつめた空気の中で繰り広げられる攻防の末、自立訓練が優勝しました。フロアバレーボールは予選を見事全勝で1位通過した3年A組が優勝しました。大会中は怪我もなく、とても有意義なひとときを過ごすことができました。



もちつき大会

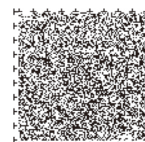
今年度も利用者と職員の交流を目的とした「もちつき大会」を開催しました。

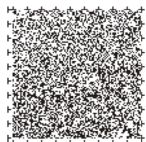
最近ではもちつきをする機会も少なくなり、もちつきをした経験がある方は5, 6名ほどでした。コロナ禍のため、人が集まる機会も減る中で、毎年恒例のもちつき大会を開催することができたのは、利用者の皆さんが日ごろから感染対策にご協力いただいているおかげと思っています。

今年も多くの利用者の方が観覧に来られ、12, 3名の方は実際に重い杵を持ち、2人で息を合わせて餅をつく体験をしました。もち米が炊けるいい匂い、餅になるまでつき上げる「ドンドン」とい

う音と「1、ハイ、2、ハイ」という掛け声。その場に参加された皆さんにも、その躍動的な空気感は十分伝わったのではないのでしょうか。会話を楽しみ、自治会から嬉しいお土産をもらって、日頃の勉強疲れも吹き飛ばすような良い気分転換になったと思います。

今年度もついた餅は食べることができませんでしたが、所長と自治会長で鏡餅を作成し、国家試験合格、それぞれの目標達成を祈願し、各クラスと自立訓練生のホーム教室に飾りました。新年も皆さんにとって良い年でありますように・・・。





障害者週間記念講演について

障害者自らの自立や社会参加への意欲、国民の障害者問題に対する理解と認識を高めるための運動を展開する期間とされた障害者週間設定以降、当センターでは、毎年外部講師をお招きし、記念講演会を行っています。今年は、「TOKYO 2020 パラリンピックを終えて」のテーマでゴールボール女子競技に出場し銅メダルを獲得された浦田理恵さんを講師にお迎えしました。

浦田さんは、当センター平成17年度専門課程卒業生です。現在は、障害者スポーツ選手雇用センターシーズアスリートに所属し活躍されています。



講演をしていただいた浦田さん



大事なメダルに触れさせていただきました

編集後記

江寄 紗代

昨年度に引き続き、コロナが流行しワクチン接種や感染対策の徹底などによってあらゆる分野で規制が緩和された1年でした。そして、コロナを通して、健康とは、予防対策について考えるきっかけになりました。また、一人一人が感染に気を付けて、いつかはコロナウイルスが撲滅されることを願っています。



早川 亮太

「大丈夫だよ」って君は泣いた。
僕のことなのに君が泣いた。
嗚咽を押し殺して取った君の手は、
きっと世界で一番温かいんだ。

気付いたら一年が終わります…あっという間でした。

漸くコロナも下火になって、少しずつやりたいことができると思います。

これから閉じ込めてたものを取り返しに行きましょう！

